

# 便秘症の新しい薬「モビコール 配合内用剤」と大腸内視鏡検査

E Aファーマは、慢性便秘症治療薬「モビコール®配合内用剤」の製造販売承認を取得しました。



『モビコール®配合内用剤』は、ポリエチレングリコール及び電解質を配合した製剤であり、腸管内の水分を保持することで用量依存的に便の排出を促進する作用があり、慢性便秘症治療の新たな選択肢となることが期待されています。



海外のガイドラインでは、小児便秘症、成人便秘症においてポリエチレングリコールを主成分とした製剤の使用が推奨されています。



成人を対象とした第3相試験では、自発排便回数が週あたり平均3回未満の状態が6か月以上持続している15歳以上の慢性便秘症の患者156例を対象に、プラセボまたは同剤を排便状況により1日2~6包を2週間経口投与した結果、主要評価項目である自発排便回数は、プラセボ投与群と比較して統計学的に有意な増加を示しました。引き続き実施した52週間継続投与する継続期において、自発排便回数は概ね一定で推移しました。



便秘薬の使用にあたっては、大腸内視鏡検査により、「大腸がんによる器質的疾患による便秘」を除外する必要があります。

